

9月14日

聖十字架日

~Holy Cross Day~ (335)

十字架称賛の祝日



伝承によると、皇帝コンスタンティヌスの母ヘレナが、320年6月14日、エルサレムでキリストの十字架を発見し、そこでエルサレムのゴルゴタの丘に、復活教会と殉教教会を建て、その献堂日が335年9月13日と伝えられている。翌日の14日は日曜日、儀式のなかで十字架が人々に公開され、十字架への崇敬を求めたという。エルサレムの十字架聖遺物の存在は、347/348年エルサレムのキュリロスによってはじめて確認されている。巡礼者エゲリアは、381/384年頃、復活教会と殉教教会の献堂記念祭と十字架の発見を報告しているが、この日の十字架崇敬についての言及はない。

9月14日の十字架称賛の祝日はまず東方教会に普及し、その際に十字架奉挙の儀式も模倣された。ローマでは、7世紀末になって初めて、この日が祝われている。ローマでは、この祝日と、もっと古い5月3日のガリアの十字架祝日とが競合していたらしい。このガリアの十字架祝日は、309年頃、教皇エウセビウスの時代に、キリストの十字架が発見された、という伝承に基づいている。一説によれば、5月3日の十字架祝日は、ペ

ルシアが持ち去った十字架の聖遺物を、627年、皇帝ヘラクリウスによって返還されたことと本来関係があった。ところが後にこの歴史的関係がひっくり返り、5月3日にヘレナによって十字架が発見され、9月14日にヘラクリウスによる十字架返還を祝うようになったらしい。因みに、カトリック教会では、この5月3日の「聖十字架発見」祝日は、1960年、教皇ヨハネス23世によって祝祭暦から削除されている。

イギリスにおいては、数多くの教会がこの祝日を記念して、「Holy Rood」または「Holy Cross」と名付けられている。(M)

<特禱>

全能の神よ、あなたはみ子の受難によって、恥ずべき死をもたらす十字架を永遠の命に至る十字架に変えて下さいました。どうか、わたしたちがみ子のために喜んで苦しみを忍び、キリストの十字架によって栄光を現すことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

出典：「教会暦」 K.H.ピーリッツ

“The Calendar of the Anglican Church”, Church of England. 1851.